

ブラジル短期再研修員

(ブラジル)

1 研修員プロフィール



氏 名 西坂 中村 マルリ れいか
年 齢 37歳
国 籍 ブラジル
出 身 サンパウロ州ペナポリス市
研修分野 会計事務、化粧品等販売代理店業務

2 研修期間の概要

機 関 名 株式会社 中尾税経総合事務所
所 在 地 鳥取市富安1丁目6-1
代 表 者 代表取締役社長 中尾 直昭
指 導 者 専務取締役 中尾 広太郎

機 関 名 株式会社 シャルビー
所 在 地 鳥取市南安長2丁目122
代 表 者 代表取締役社長 工藤 裕司
指 導 者 取締役 工藤 眞貴子

3 研修経過

年月日	研修内容
2011. 1. 16	来県 (関西空港 → 鳥取)
1. 17	研修開始 <株式会社 中尾税経総合事務所>
1. 19	研修開始 <株式会社 シャルビー>
1. 20	米子全日空ホテル、大山ロイヤルホテルにてディスプレイ (展示) 業務 <シャルビー>
1. 24	県副知事、県議会表敬訪問
2. 3	岩井温泉旅館にてディスプレイ (展示) 見学 <シャルビー>
2. 9~10	大丸「山陰うまいもの祭り」のブースで商品販売 <シャルビー>
2. 22	税務署見学 <中尾税経総合事務所>
2. 27	鳥取ブラジル友好協会、鳥取ブラジル会による歓送迎会
3. 15	県副知事、県議会帰国挨拶 研修終了式・報告会
3. 19	離県

4 研修報告

(1) はじめに

私は平成9年度4月より10ヶ月間海外技術研修員として、鳥取県出納局会計課、総務部財政課、株式会社中尾総合税経事務所等で会計事務について研修させていただきました。色々な機関の組織体系や経理の実務を学び、また日本での生活に慣れ、文化や習慣も深く知ることができました。それから13年後、今回は以前鳥取県で研修を終えて帰国した元技術研修員、元県費留学生を対象とした短期プログラムで、1月17日より2ヶ月間の研修を受ける機会をいただき、再び鳥取に来ることができました。

現在ブラジルでは、化粧品・健康補助食品販売代理店をしており、また夫の弁護士事務所の経理も担当しています。この度の研修の目的は、代理店業務における会計処理・実務及び販売の業績拡張のための手法、マーケティング等を学ぶことでした。月曜日と火曜日は中尾税経総合事務所での経理の研修を、水曜日、木曜日、金曜日はシャルビーで、化粧品・健康補助食品販売実務を、また消費者の購買動向や接客等を学ぶためにフェイスエステ、ハンドマッサージ、メイク等の研修を受けました。

(2) 株式会社 中尾税経総合事務所での研修



経理に関する様々な仕事を再度学びました。資料を見ながら入出金の伝票を起票してパソコンに入力し、その後伝票を科目ごとに分けて最後に残高を合わせることを勉強しました。所属の課の仕事だけではなく他の課の業務も手伝い、色々な業種の帳簿処理について指導していただきました。

事務所の職員の方々は前回の研修時と変わりなく親切で、私に良くしてくださいました。ブラジルでは全く日本語を使わないので、私にとっては特に漢字が大変難しいのですが、知らない言葉とか専門用語があった時にも分かるまで教えてくださり、困ったことはありませんでした。

こうして事務所の皆様と13年後に会えるとは、全く予想もしていませんでしたので、

わずかな期間ですが研修は当然、交流も大切と思いながら休憩時間にも色々なお話しをし、楽しく充実した研修となりました。そして13年前に大変お世話になった中尾先生にまたお目にかかれたこともとてもうれしいことでした。

短い間でしたが、皆様ありがとうございました。



中尾先生



常務



専務



事務所内



事務所で



所属課の職員の方々

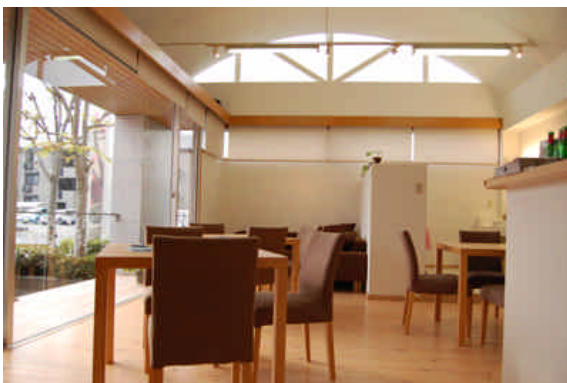


初めての大雪体験。雪道を歩いて通勤しました。

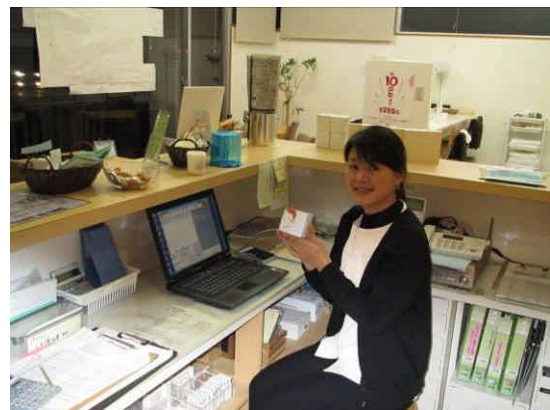
(3) 株式会社 シャルビーでの研修

シャルビーは、自社ブランド化粧品の製造・販売、また自社ブランド品を使ったエステティックサロンも経営される会社です。シャルビーの化粧品は鳥取の自然の恵みがたくさん詰まった製品です。

研修の初めに、シャルビーで販売されている商品の説明を受け、その後フェイエステ、ハンドマッサージやメイクを実習しました。全くの初めての経験でしたが、この実習を受けながら、お客様への対応も勉強させていただきました。若い方から年配の方までお客様の状況や希望を把握し、温かい笑顔で接客に努めることを、そしてお客様とふれあいながらのトークも身につけさせていただきました。商品の販売には、人と人のふれあいが大切だと思いました。また、お客様の状況や希望に合うものをご提案するために、顧客管理の大切さがよくわかりました。実際にパソコンでどのように顧客情報を管理するかを教えてくださいました。



受付とサロン



受付カウンター内



ハンドマッサージ



フェイシャルエステ

シャルビーの商品は、インターネットでの注文を受け付けていますので、ホームページでの商品の紹介等も参考になりました。また、県内でシャルビーの商品を取り扱っている所へ出向き、どのような場所で販売されているか、購買者の目を引くためにはどのようにディスプレイ（展示）するか等についても、教えていただきました。大丸デパートでは、店内のブースで、鳥取大学・鳥取県・シャルビーの共同研究で生まれた「りっとのたからもの ほほうるる」の販売のお手伝いをしました。商品のサンプルをつけたダイレクトメール等の広告宣伝も勉強になりました。

社内のエステサロンでは、私自身がまず実際にメイクやハンドマッサージ、フェイシャルエステを体験させていただきました。お客様に商品の良さを実感していただくために、エステはとても有効な方法です。エステサロンの皆さんは初めての私に丁寧に教えてくださいました。また、通勤の送迎や大阪や神戸を案内していただいたりと研修以外にも大変お世話になりました。

シャルビーで指導していただいたことを生かして、ブラジルに帰ったら、私の化粧品販売代理店の経営をさらに広げていきたいと思えます。



大丸「山陰うまいもの祭」のブースで



シャルビーの皆様と

5 交流について

13年前に来た時に知り合った方々と再会することができ、それぞれの方が仕事や子育てに頑張っていらっしゃるのを知ることができたことが何よりうれしかったです。13年前と同様に滞在中に色々と助けていただきました。

鳥取県ブラジル友好協会、鳥取県ブラジル会の皆様には歓送迎会をしていただきました。会員の皆様が鳥取県とブラジルとの交流を大切にしてくださっていることがよくわかりました。私もブラジルの日系社会で研修で学んだことを生かして、鳥取県とブラジルの架け橋になればと思います。



ブラジル友好協会とブラジル会 歓送迎会

6 終わりに

鳥取での2ヶ月間の研修は短かったですが、とても有意義な研修を受けることができました。このような再研修の機会を与えてくださった事に大変感謝しています。ブラジルに帰ったら、今回の研修で学んだことを今後の販売業務に役立てていきたいと思っています。

13年前も今回の研修でもたくさんの方にお会いし、お世話になりました。本当にどうもありがとうございました。



倉吉市内の親せきを訪問しました



シャルビーの皆さんとカラオケに行きました



13年前に知り合った人たちと再会



中尾税経総合事務所の友達と

県費留学生

(ブラジル)

1 留学生プロフィール



氏名 アンドレ・コウジ・ニシサカ
年齢 26歳
国籍 ブラジル
出身 サンパウロ州
サン・ベルナルド・ド・カンポ市
研修科目 口腔外科

2 留学機関の概要

機関名 鳥取大学医学部附属病院
所在地 鳥取県米子市西町 36 番地
指導者 口腔顎顔面病痛外科学分野教授 領家 和男

3 研究・活動経過

年月日	研修内容
2010. 4. 27	来日（関西空港到着）
4. 28	来県（米子市に到着）
5. 1	鳥取大学医学部附属病院歯科口腔外科 研修開始
5. 15	鳥取ブラジル友好協会による歓迎会に出席（鳥取市）
5. 19	鳥取大学医学部 日本語クラス開始
5. 21	鳥取県副知事表敬（鳥取市）
5. 29	鳥取大学医学部附属病院歯科口腔外科医局会でブラジルを紹介
6. 8	鳥取大学医学部で口腔ケア勉強会に参加
7. 4	「第 23 回北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会」に参加、完走
7. 16	鳥取大学医学部附属病院歯科口腔外科医局旅行に参加 （山口県：岩国市、宇部市、下関市）
8. 1	ブラジル国際理解講座とブラジル料理教室（IEA 江府）に講師として参加、 ブラジルを紹介
8. 7	「第 46 回鳥取しゃんしゃん祭り」に参加
8. 8	鳥取県国際交流財団「わいわい WORLD」に講師として参加、ブラジルを紹 介
9. 11	倉吉市「第 31 回食のみやこ鳥取県フェスタ」に参加、ブラジルコーヒー を販売
9. 23	鳥取県国際交流財団「日本のおふくろの味」に参加し、日本料理を習う
9. 29	鳥取県国際交流財団「医療通訳ボランティア養成講座」に講師として参

	加
10. 2	鳥取県国際交流財団「わいわい WORLD(こどもの国)」に参加し、ブラジルを紹介
10. 11	鳥取県国際交流財団「みんなでスポーツ！」に参加
10. 15	「第 55 回日本口腔外科学会総会・学術大会」(千葉県)に参加
10. 20	「第 51 回海外日系人大会」(東京都)に参加
10. 21	「第 5 回ユース会議」(東京都)に参加
10. 24	鳥取大学医学部「錦祭」に日本語クラスの皆さんと参加
11. 6	「第 9 回中国四国口腔癌研究会学会講演会」(広島市)に参加
11. 7	「第 58 回 NPO 法人日本口腔外科学会中国・四国地方部会」(広島市)に参加
11. 23	「第 15 回山陰口腔疾患研究会」(米子市)に参加し、「閉塞型睡眠時無呼吸症候群」について研究発表
11. 23	「第 20 回鳥取大学医学部口腔外科同門会」忘年会に出席
12. 10	鳥取大学地域学部の研究のためゲストとして参加し、ブラジル移民について話す
12. 24	栃木県日光市で全国のブラジル研修員留学生とクリスマスパーティ
12. 28	鳥取大学医学部口腔外科医局忘年会でブラジル料理を紹介
2011. 1. 7	鳥取大学医学部口腔外科抄読会に参加 「Orthoimplants: an alternative treatment for OSAS?」発表
1. 25	鳥取大学医学部口腔外科「ノーベルインプラント勉強会ハンズオン」に参加
1. 26	「第 29 回日本口腔腫瘍学会・総会学術大会」(熊本県)に参加
1. 28	熊本県玉名市伊倉小学校でブラジルを紹介
1. 28	熊本県伊東歯科口腔病院 伊東隆利先生に挨拶(平成 22 年に研修した病院)
2. 6	鳥取大学医学部口腔外科「ノーベルインプラント勉強会」に参加
2. 9	鳥取大学医学部「障害特性と就労支援」勉強会に出席
2. 14	鳥取県米子市立淀江小学校(3 年生)で国際理解教室に講師として参加し、ブラジルを紹介
2. 27	ブラジル友好協会 送別会に出席
3. 4	鳥取大学医学部口腔外科 研修修了
3. 5	鳥取大学医学部口腔外科 医局会・送別会に出席
3. 7	鳥取県国際交流財団米子事務所で研修開始
3. 12	鳥取大学医学部 日本語クラス送別会
3. 15	研修修了式及び報告会・送別会(鳥取市)
3. 20	離県、関西空港より帰国

4 研修報告

(1) はじめに

私はブラジルのサンパウロ州サン・ベルナルド・ド・カンポ市に生まれた日系3世です。日本語は小さい時から祖父と両親に教えてもらい、日本語専門学校にも通っていました。

2008年1月にアラサツバ・ウネスピー州立歯科大学を卒業し、歯科医師の免許を取りました。大学を卒業して7ヶ月後に熊本県海外技術研修員として来日し、熊本県で半年間研修しました。そして、この度、2010年4月28日から鳥取県の県費留学生として鳥取大学医学部附属病院歯科口腔外科で研修をすることになりました。

ブラジルには「ブラジル鳥取県人会」があります。この会は鳥取県出身者で構成されており、1952年（昭和27年）に発足しました。そして1995年にはサンパウロにブラジル鳥取県人会館「ブラジル鳥取交流センター」が建設されました。

ブラジル鳥取県人会は、1965（昭和40年）から鳥取県に留学生を受け入れていただいております。これまで57人の留学生が県人会を通じて鳥取県へ行っています。そして留学生たちは、ブラジルに帰国した後もブラジルと日本の相互交流のために活躍しています。

私の父方の祖父は倉吉市出身で1927年にブラジルへ移民しました。そしてブラジルで米子市出身である祖母と出会い、結婚後、ブラジルで暮らしています。

私もこのような縁があって今回鳥取県へ留学生として来ることができました。

(2) 鳥取大学医学部での研修

鳥取大学医学部附属病院

平成22年4月28日、鳥取大学部附属病院へ初めて行きました。鳥取大学医学部附属病院は、鳥取県で最も大きな病院です。697病床と約1000人のスタッフで支えられており、東は鳥取県西部から西は島根県東部、南は岡山県北部までと広い範囲に渡って地域の医療を支える拠点となっています。



鳥取大学医学部病院

鳥取大学医学部附属病院歯科口腔顎顔面病態外科学分野での研修

私が研修した歯科口腔外科の医局のメンバーは、歯科医師 20 名、歯科技工士 2 名、歯科衛生士 3 名、事務 2 名、研究補佐が 1 名です。外科疾患のみならず、口腔内科学的疾患も多く、口腔全般にわたる、いわゆる「口腔科」として診療・研究・教育を行っています。

歯科口腔外科は、主な特色として「一般的歯科治療」及び「口腔外科手術治療(口腔癌治療、口腔骨折、口腔外科矯正手術)」の 2 つがあります。



鳥取大学医学部附属病院歯科口腔外科医局員

一般的歯科治療 (外来)

外来は、教授以下すべてのスタッフが診療にあたっており、原則として教授の診断・治療方針の決定のもとで担当医が治療を行います。

月曜日と金曜日は教授専門外来があります。歯科用診察台は 8 台設置されており、1 日に約 70 人の診察を行います。

外来では一般的な歯科治療を行っており、例えば、虫歯治療、抜歯、歯周病治療、歯内療法、義歯の装着、差し歯の装着、歯科矯正、口腔ケアと歯科小外科などがあります。歯科小外科は、親しらずや過剰歯の抜歯、インプラント手術及び腫瘍バイオプシー（生検）で、例えば口腔粘膜疾患、口内炎、口腔乾燥症、白板症、骨炎症、良性腫瘍、悪性腫瘍などがあります。



鳥取大学医学部病院口腔外科外来 (2F)

口腔外科手術治療（病棟入院が必要）

歯科口腔外科は建物の2階A病棟にあり、眼科との混合病棟です。専門ベッドは14床あり、それを超える場合は一般病床を利用することができ、長期にわたる入院待ちはありません。年間の新入院患者数は約262例、手術件数も年間で約185例（全身麻酔下、局所麻酔下）です。口腔疾患以外の疾患がある人については、その専門診療科と協力して診療にあたっています。

口腔がん

「口腔がん」とは、舌、歯肉、頬の内側など口の中にできる悪性腫瘍であり、発生率はがん全体の1~2パーセントと低いものの、進行するとリンパ節や他の臓器に転移したり、食事がとれずに衰弱してしまい、命に関わる危険性のある重大な病気です。

口腔外科では、口腔内からあごの下、首つけ根まで（頭頸部）の「がん」の治療を行い、周辺臓器（鼻の中、のどの奥、食道など）まで及ぶ場合は、耳鼻咽喉科、消化器科、形成外科などの関連科と協力して治療を行います。

基本的に口腔がん治療は、切除しても機能障害（しゃべられない、食べられないなど）が少ない場合（早期~中期がん）手術で外科的に切除する、放射線をあてて治す方法、抗がん剤による治療を実施しており、選択的動注療法は治療効果が高く機能障害が少ない方法として注目されています。

どの治療方法にも長所と短所があるので、「がん」の部位、大きさや種類、転移の有無や患者の体の状態、仕事や家庭などの社会的背景も考慮しながら、十分に相談したうえで治療方針を決定しています。

顎顔面骨折

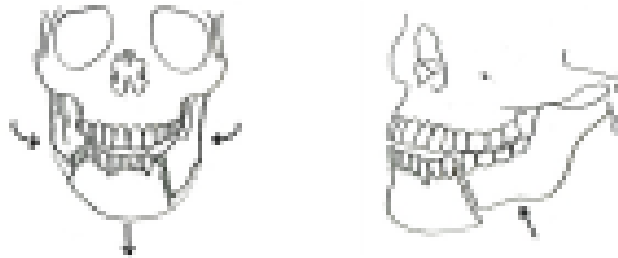
ほとんどの顔面骨骨折において、緊急手術は必要でなく1週間から10日以内に手術を行えば問題はありません。

折れた場所によって治療の方法は違います。

急性で重度のものは、呼吸障害や出血による生命の確保がまず第一と考えられます。その後で、あごや顔面の機能障害や傷を最小限に抑えるよう、できるだけ早い時期に根本的な整復固定手術を行います。怪我の状態が小さければ、噛み合わせの確保（上下のあごを縛り合わせる顎間固定）が基本です。

最近では、正確に骨をつなぎ合わせ、できるだけ早く正常の生活に戻れる治療法がとられるようになりました。下顎骨骨折では骨折の部位に応じて口の中や顎の下、耳の前など

を切開し、正しい咬み合わせが得られるように骨折した骨を戻した後、プレート固定や歯にワイヤーやゴムなどをかけて上顎と下顎を固定する方法を行います。

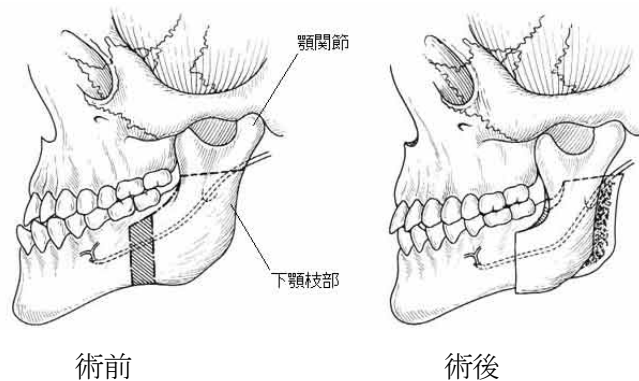


口腔骨折

外科矯正手術

上顎前突症、上顎後退症、下顎前突症、下顎後退症、開咬症、顎骨非対称症例などの顎変形症患者については、機能的ならびに審美的障害に対する治療法として外科的矯正治療が行われます。外科手術は、全身麻酔によって手術が行われます。

口腔内に切開を加えて骨切りを行います。入院期間は、平均 2～3 週間くらいです。例えば、下顎前突症（受け口）の手術 SSRO 法（下顎枝矢状分割術という手術）は、下顎骨の大臼歯の後方部を内側と外側の 2 枚に割り、そして上下の歯が正常に咬合する位置まで歯のあるほうの骨を後方にずらし、その位置でプレートにより固定するというものです。



口腔外科矯正手術

研修で経験・学んだこと

鳥取大学医学部附属病院歯科口腔外科で、4月27日～3月5日まで研修しました。そのあいだに様々な勉強ができました。

I-)総合病院での経験

私はブラジルで歯科医師免許を取得して以来、歯科医院やデンタルクリニックでしか仕事の経験がありませんでした。今回、総合病院で仕事することができて、いい経験となりました。

病院は広く、多くの専門科と患者がいます。病棟、HCU、ICUで患者をみるのは初めてでしたが、患者を励ましたり、病状が悪化した患者に対処したり、毎日いろいろな仕事があります。口腔外科が他の専門科と協力して治療を行っていることも知りました。

II-)口腔ケア

入院患者のなかで普通にご飯が食べられる人は決して多くありません。ゲガや病気等で口の中の衛生管理が出来なくなった場合、ADLの低下、新たな感染を起こすことがあります。

口腔外科では、そのような患者のために歯を磨いたり、デンタルフロスを使ったり、舌、頬、歯肉などに薬を塗る等の口腔ケアを行っています。私も口腔外科のスタッフと一緒に患者の口腔ケアをしました。

III-)手術アシスタント

病院では一般の診療所と比べると高度な手術が行われています。手術は全身麻酔または局所麻酔をかけながら行われます。具体的には、骨を切ったり腫瘍を除いたり血管を切ったり繋げたりします。

手術室では様々な役割をさせていただきました。手術の記録写真を撮ること、手術助手をすること、手術外回りをすることです。手術室で全身麻酔や局所麻酔の勉強をするなど、見学しながら多くを学ぶことができて、とてもいい勉強になりました。



手術室でアシスタント

IV-)勉強会

1. ケースカンファレンス

毎週木曜日はケースカンファレンスの日です。スタッフ全員が集まり、レントゲン検査、MRI検査、CT検査などを見ながら入院患者の細かな治療計画を立てていきます。

2. 抄読会（しょうどくかい）

毎週金曜日の午前中は「抄読会」という勉強会が行われています。医局のスタッフが全員集まって国際的な論文を読んだり、見たり、勉強したりします。

私は、この会で平成23年1月7日に「Orthoimplants:an alternative for OSAHS?」という論文を発表しました。

3. 医局会

毎月第3土曜日の午前中は医局会が行われています。医局のスタッフ全員と、他の病院で働く先生方も集まって様々なことを勉強しています。

私は、平成22年5月29日にこの会の中でブラジルを紹介しました。

V-)医局旅行

7月24～25日、医局旅行で山口県へ行きました。その中で山口大学口腔外科の方々と野球の試合をしたり、交流会を通して多くの人に出会うことができました。山口県岩国市や下関市へも行きました。



医局旅行野球の試合

VI-)口腔外科学会

初めて口腔外科学会に参加することができました。

千葉県の幕張メッセ国際会議場で行われた「第55回日本口腔外科学会総会・学術大会」（10月15日～18日）、広島市で行われた「第9回中国四国口腔癌研究会学会講演会」「第58回NPO法人日本口腔外科学会中国・四国地方部会」（11月6日～7日）、そして熊本市で行われた「第29回日本口腔腫瘍学会・総会学術大会」（平成23年1月26日～28日）に参加しました。

これらの学会は、それぞれに違いはあるものの、日本全国から集まった医師の発表を聞くことができるいい機会となり、勉強になりました。

これ以外にも11月23日に米子市で行われた「第15回山陰口腔疾患研究会」では、私自身も「閉塞型睡眠時無呼吸症候群」をテーマに発表を行いました。

閉塞型睡眠時無呼吸症候群

「睡眠時無呼吸症候群(OSAS)」とは、上気道の閉塞により睡眠時に呼吸停止または低呼吸になる病気です。

肥満者は、非肥満者の三倍以上のリスクがあるとされ、また顎が小さい骨格であるほど発症リスクも高くなります。主な原因は、睡眠中の筋弛緩により舌根部や軟口蓋が下がり気道を閉塞することです。OSASの検査には、睡眠ポリソムノグラフィ検査、睡眠ポリグラフ(PSG)検査があり、どの検査も入院して行います。携帯型の簡便な装置(アプノモニター)で在宅検査を行なう場合もあります。OSASの症状については、いびき、日中の眠気、就寝中の意識覚醒の短い反復、およびそれによる脳の不眠、昼間の耐えがたい眠気、集中力の低下などがあります。

治療法については、患者の自己コントロールによる療法、外科的療法、治療装置を用いた方法などが行われています。特に治療装置を用いた治療法としては、スリープスプリントを用います。睡眠時に着用して下顎を前進させた状態を固定することにより上気道の閉塞を防ぎ、症状の改善を図る効果があります。



歯科口腔外科学会



第15回山陰口腔疾患研究会で「閉塞型睡眠時無呼吸症候群」について発表



(3) 文化交流や体験について

鳥取県では、4月27日から翌年3月20日までたくさんのイベントに参加し、多くの人と出会い話しをしました。

鳥取県副知事表敬

5月21日、鳥取県庁で副知事・藤井喜臣氏を表敬訪問しました。ブラジルや鳥取県について話をする中で、私の研修の専門分野にまで話が広がりました。

第23回北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会

7月4日、「北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会」に参加しました。私にとって初めてのマラソン参加でしたので、とても疲れましたが、3kmコースに参加して14分57秒の好記録で完走しました。このイベントでは「名探偵コナン」Tシャツがもらえるほか、すいかや長いもが食べ放題でしたので、おもいきり楽しみました。

第46回鳥取しゃんしゃん祭り

8月1日、鳥取市の「しゃんしゃん祭り」に参加しました。最初のうちは踊り方が分からなくて苦労しましたが、当日の午前中に鳥取ブラジル友好協会の会員の皆さんに踊り方を教えてもらい、午後の本番では鳥取駅前ステージで踊ることができました。インタビューもされました。



鳥取しゃんしゃん祭り

医療通訳ボランティア養成講座

9月29日、倉吉市で「医療通訳ボランティア養成講座」にゲストとして参加しました。受講者の方々に私の国の医療システムや医療文化について話しました。

みんなでスポーツ！

10月11日、鳥取県国際交流財団主催で行われたスポーツイベント「みんなでスポーツ！」に参加しました。ブラジルでも運動会はありますが、この日は、来日してから初めて他の国の人たちと交流しました。いろいろな話しができて、様々な国の人と知り合い、一緒に遊び、日本文化に関するクイズにも参加して、よい一日となりました。

日本のおふくろの味

9月23日、鳥取県国際交流財団主催イベント「日本のおふくろの味」に参加しました。

日本の本物の味を堪能できました。ブラジルに帰って日本料理を作るのが楽しみです。

ブラジル国際理解講座・ブラジル料理教室

日本滞在中にブラジルを紹介する機会が多くありました。

まず5月29日に鳥取大学医学部口腔外科の医局でブラジルを紹介しました。そこではブラジルの歯科システムやブラジルの一般的な話しもしました。8月1日には江府町でブラジル紹介とブラジル料理教室を行いました。8月8日と10月2日には「わいわいWORLD」という鳥取県国際交流財団主催で行われたイベントにゲストとして参加し、子どもたちにブラジル料理を教えました。12月10日には鳥取大学地域学部へ行き、ブラジル移民について講義しました。そして2月14日は米子市立淀江小学校で国際理解教室があり、ブラジルの話や遊びで盛り上がりました。



(左から) 江府町での国際理解講座、わいわいWORLD、鳥取大学地域学部

(4) 特別なイベント「海外日系人大会」

10月24日、「海外日系人大会」に参加しました。この大会は海外および国内に在住する日系人が一堂に会して居住国の実情を話したり、国際交流や国際理解、国際親善を深めていく目的で開催される大会です。

私は「ユース会議」にも参加し、日系少年の問題について世界の様々な日系人と一緒に話すことができ、よい勉強になりました。



(左から) 海外日系人大会、ブラジル鳥取県人会の本橋会長と、ユース会議にて

(5) 日本での生活

米子での生活は楽しく、様々な経験ができました。日々の移動には自転車を使用しました。夏は、よく米子市内をまわって色々なところへ行きました。アパートは狭いけれど、一人暮らしにはちょうどよい大きさです。アパートから研修先へはとても近く、近所にはスーパーや鳥取県国際交流財団米子事務所、JR 米子駅もあり便利な立地でした。休みの日には、アパートの掃除や洗濯をしました。食事は自分で弁当を作って病院に持って行きました。日本の食べ物は美味しかったです。

日本の天気は、ブラジルと大きく違ったので慣れるまで大変でした。特に 2010 年の夏は米子で最高気温が 38℃と、蒸し暑かったです。そして冬になると-2℃まで気温が下がり、雪も 90cm も積もるほどでした。

米子市は静かな住みやすいところです。水がきれいで、近くには素晴らしい大山があります。大山へ実際に行ったときにはとても感動しました。



“雪国” 米子市、大山

(6) 日本語学習

研修が始まって間もない 5 月下旬から鳥取大学医学部の日本語クラスに参加しました。クラスは毎週水曜日の午後であり、私は上級クラスで学習しました。クラスでは、文字・語彙、読解、リスニング、そして日本の生活などについて学びました。クラスメートはギリシャと中国からの留学生でした。その他にもフィリピンやインドから研究・留学のために来日している留学生の友だちができて、いい交流ができました。

10 ヶ月間は本当にあっという間でした。日本語を教えてくださいました土江先生に深く感謝しています。



日本語クラスの友だちと学祭でインドカレーを販売

(7) 親戚を訪ねて

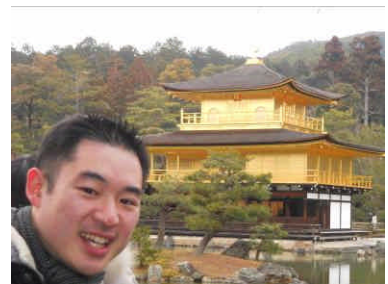
今回、祖父が生まれた鳥取県倉吉市を訪ねることができました。倉吉市にはまだ親戚(祖父の従兄弟)が住んでいます。親戚は、先祖が眠るお墓へ連れて行ってくれました。そこは倉吉市和田というところで、今も古い家が残っています。

80年ものあいだ、一度も生まれ故郷である倉吉市に帰れないことは祖父にとって本当に寂しいことだと思います。私は祖父の孫として「西坂家」のご先祖が生きていた場所、倉吉市を訪ねることは大切なことだと感じていたので、実際に訪れることができて感動しました。



倉吉市で親戚に会い、御先祖の御墓参りをし、親戚と交流しました

日本での旅行



日本各地を旅行しました。

写真は、富士山登頂、広島宮島の宮島、原爆ドーム、京都の金閣寺、熊本城、岩国の錦帯橋、鳥取砂丘、水木しげるロード、大山（だいせん）です。

（8）終わりに

私にとって日本に来ることは“自分の故郷を訪ねる”ことだと感じています。

私が平成 22 年の鳥取県費留学生として日本に来ることができて、この 1 年のあいだでいろいろな経験や勉強ができたのは鳥取県の皆様のおかげだと思います。

鳥取県交流推進課の藤江さん、村中さん、いろいろとお世話になり、ありがとうございました。鳥取県国際交流財団米子事務所の藤原さんをはじめとして、スタッフの皆様には生活や大学のことでお世話になり深く感謝しています。

また、鳥取大学医学部口腔外科教授の領家男先生をはじめ、准教授の小谷先生、私の担当をしてくださいました講師の土井先生、医局長の田窪先生、木谷先生、原田先生、技工士の中力さん、品川さんに深く感謝します。いろいろと病院のことを教えていただき、さまざまな経験、勉強をさせていただきました。皆さんのおかげで一日を楽しく過ごすことができました。医局の皆さんが私を医局のメンバーとして認めてくださり、本当に嬉しかったです。毎朝の朝礼、外来での一日、手術室、夜遅くまで続いた病院での勉強、医局会と、たくさんの思い出が私の心の中に残っています。

改めまして、鳥取県庁、鳥取県国際交流財団、鳥取大学医学部附属病院口腔外科、鳥取ブラジル友好協会の皆様、大変お世話になりました。心から深く感謝申し上げます。

JICA医療研修員

(モンゴル中央県)

1 研修員プロフィール



氏 名 サンダグ・トゥグスバヤル
 年 齢 37歳
 国 籍 モンゴル
 出 身 中央県 ズーンモト市
 研修分野 産婦人科



氏 名 ルハグワジャヴ・ウランチメグ
 年 齢 46歳
 国 籍 モンゴル
 出 身 中央県 バヤンチャンダマニ町
 研修分野 産婦人科

2 研修機関の概要

機関名 鳥取県立中央病院
 代表者 院長 武田 倬
 担当者 医療局長 皆川 幸久、産婦人科医長 池野 慎治

3 研修経過

月 日	研 修 内 容
9/5 (日)	来日 (米子ソウル便利用)
6 (月)	オリエンテーション 開講式 歓迎会
7 (火)	午前 産婦人科超音波の教科書と日蒙辞典を贈呈、超音波の実地研修 午後 子宮筋腫手術 (子宮全摘術) を見学
8 (水)	終日 外来見学
9 (木)	午前 外来見学 午後 手術見学 (腹腔鏡下の卵巣膿腫摘出術、子宮鏡下の子宮筋腫核出術、子宮体部癌手術)
10 (金)	午前 病棟回診、APS (抗リン脂質抗体症候群と PIH について講義) 常位胎盤早期剥離の救急搬送があり、超緊急帝王切開を見学 午後 超音波実習と 18trisomy の奇形胎児の超音波実習

11 (土)	浦富遊覧船 砂丘観光
12 (日)	鳥取県民フォーラム
13 (月)	午前 外来見学 午後 手術見学 (腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出)、Rh マイナス妊娠管理講義
14 (火)	午前 入院患者の超音波の現地研修、産科スタンダード教科書を贈呈 午後 子宮筋腫手術 (子宮全摘術) 見学
15 (水)	終日 外来見学、症例検討会
16 (木)	午前 外来見学 午後 手術見学
17 (金)	午前 病棟回診、胎児心拍モニタリングについて講義 午後 超音波実習
18 (土)	新生児蘇生講習会
19 (日)	梨狩り・グランドゴルフ
20 (月)	久松山登山
21 (火)	午前 超音波実習、BPS (バイオフィジカル・プロファイリング・スコア) 学習 午後 帝王切開に参加
22 (水)	午前 外来見学 午後 腹膜癌手術見学、症例検討会
23 (木)	祝日 子育て王国鳥取のイベントに参加
24 (金)	終日 超音波実習
25 (土)	休日
26 (日)	休日
27 (月)	午前 外来見学 午後 卵巣癌手術見学、PIH ガイドラインについての講義
28 (火)	午前 超音波実習 午後 手術見学
29 (水)	午前 自習 午後 ハイリスク外来、症例検討会
30 (木)	午後 妊婦健診 午後 早産の出産見学
10/1 (金)	午前 実習振り返り 午後 副知事表敬訪問、当院産婦人科医による送別会
2 (土)	休日
3 (日)	休日
4 (月)	午後 研修報告会、閉講式
5 (火)	帰国 (米子ソウル便利用)

4 研修報告

研修報告会で使用したパワーポイント資料をもって、研修報告とする。

周産期医療研修レポート

鳥取県中央病院
2010年10月4日

モンゴル中央県研修員
サンダグ・トゥグスバヤル
ルハグワジャヴ・ウランチメグ

今回の主な研修内容

- 外来見学
- 超音波診察
- ハイリスク妊娠管理(特に妊娠高血圧症候群)
- 手術見学(帝王切開や婦人科疾患の手術)
- 妊娠高血圧症候群の周術期管理
- 病棟回診
- 産婦人科テキストによる知識習得

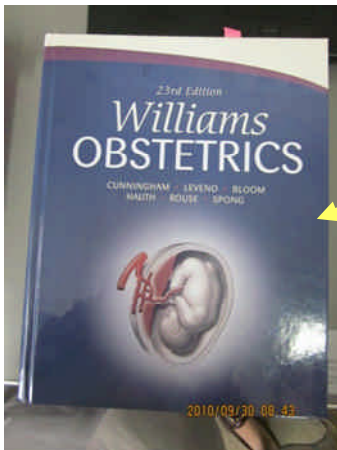
外来見学



- ・ ハイリスク妊娠診察、治療
- ・ 妊娠高血圧症候群妊娠の診察
- ・ 妊娠合併症管理

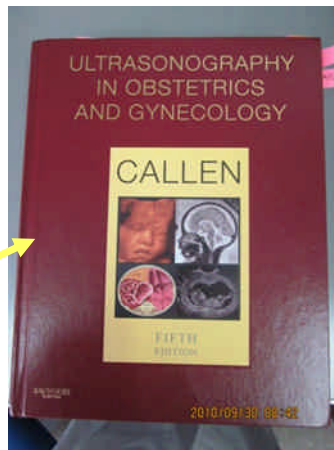


英語のテキストを使用して、実際に経験した疾患について検索している様子



最も標準的なアメリカの産科テキストブック
Williams Obstetrics: 23rd Edition

産婦人科超音波の専門書
Ultrasonography in
Obstetrics and Gynecology



超音波診察



胎児発育評価 (PIHの危険予測)
胎児血流評価 (緊急度評価・娩出時期の決定)
胎児機能評価 (娩出時期の決定)
胎児奇形の診断 (胎児発育遅延の原因推定)



PIH患者の帝王切開



胎児機能不全患者の帝王切開



日本周産期学会による新生児蘇生ガイドライン講習会に参加



毎週行われた症例検討会に参加





電子カルテシステム



CDにより音楽が流れる外来



保温してある診察器具



4D機能搭載の超音波診断装置



外来での胎児心拍監視装置



帰国後の研修活用について

中央病院において - Dr.トウグソ

超音波診断装置を用い、妊娠高血圧症候群妊婦の管理向上

- ⇒①胎児発育遅延を伴う早発型妊娠高血圧症候群の早期発見が可能となる
- ②高血圧妊婦に胎児血流評価を行うことにより、胎児機能評価を行い、高次施設への搬送のタイミングを判断することができる
- ③胎児機能を客観的に評価し、最も適切な時期に娩出する

妊娠高血圧症候群の周産期管理向上

- ⇒①搬送・娩出のタイミング(胎児適応)を適切に行うことで、母体の悪化を防止できる
- ②ガイドラインを再認識し、適切な薬剤投与を徹底することで産後の重症化を予防する

一次病院との連携強化

- ⇒①妊娠高血圧症候群妊婦の管理について指導
- ②分娩予定日を適正に診断することを指導
- ③今後連携に必要な問題点を検証して今後のプロジェクトを充実させる

帰国後の研修活用について

バンチャングマニ町病院において - Dr.ウルナ

超音波診断装置を用い、妊娠高血圧症候群妊婦の管理向上

- ⇒①胎児発育遅延を伴う早発型妊娠高血圧症候群の早期発見が可能となる
- ②胎児機能を客観的評価法を知ることにより、羊水量の客観的評価や胎動の評価を行い、胎児機能を推測する
- ③分娩予定日を適正に診断し、胎児発育評価を適正に行う

妊娠高血圧症候群の周産期管理向上

- ⇒①搬送・娩出のタイミング(胎児適応)を適切に行うことで、母体の悪化を防止できる
- ②ガイドラインを再認識し、適切な搬送を行う。
- ③ガイドラインを遵守し、適切な薬剤投与を徹底することで産後の重症化を予防する

高次病院との連携強化

- ⇒①ともに研修を行った中央病院Dr.トグソとの連携強化
- ②今後連携に必要な問題点を検証して今後のプロジェクトを充実させる



閉講式にて

歷代研修員等名簿

海外技術研修員等 受入人数総括表

	ブラジル	中 国 河北省	中 国 吉林省	中 国 その他	韓 国 江 原 道	モンゴル 中 央 県	その他	計
海外技術研修員 (ブラジル 1988年～) (モンゴル 1995年～) (吉林省 1995～2003年)	33		12			20	1	66
河北省技術研修生 (1992～93年)		3						3
河北省農林漁業研究生 (1988～2003年)		26						26
河北省農業緑化研修生 (1987～2003年)		77						77
黒龍江省農業研修生 (1995年)				3				3
江原道行政実務研修生 (1993年～)					15			15
自治体職員協力交流研修員 (全 体 1996年～) (吉林省 1999年～) (江原道 1998年～)			11	1	10		3	25
外務省長期招聘事業研修員 (1995～2000年)							6	6
JICA自治体連携研修員 (1999～2004年)						4		4
JICA医療研修員 (2010年～)						2		2
ブラジル県費留学生 (1965年～)	58							58
ブラジル短期再研修員 (2009～10年)	2							2
計	93	106	23	4	25	26	10	287

海外技術研修員

年 度	国籍・出身地	氏 名	性別	研修内容	研修先
1988 (昭和 63)	ブラジル	中原 清治 パウロ	男	農地灌漑	鳥取大学農学部
1989 (平成元)	ブラジル	伊藤 誠 パウロ	男	園芸 (果実処理 技術)	鳥取大学農学部
		山根 猛 セルジオ	男	コンピュータ ・システム	鳥取大学工学部、鳥取県情報セ ンター
1990 (平成 2)	ブラジル	伊藤 万里夫	男	歯科治療	県立中央病院
		河上 リジア ベロニカ	女	理学療法	皆生小児療育センター
1991 (平成 3)	ブラジル	西尾 リナ 佳代子	女	建設設計	米子工業高等専門学校
		菊留 恵 ルシア	女		
1992 (平成 4)	ブラジル	河上 ファビオ 竹一	男	システム工学	鳥取大学工学部
1993 (平成 5)	ブラジル	門脇 エジソン	男	農業分析化学	鳥取大学農学部
		加藤 モニカ みち子	女	グラフィック ・デザイン	米子工業高等専門学校
1994 (平成 6)	ブラジル	細田 眞一 エルシオ	男	果樹栽培	鳥取大学農学部
		米原 ルシアーナ	女	海水魚栽培	県水産試験場
1995 (平成 7)	ブラジル	加藤 ベロニカ あけみ	女	歯科治療	県立中央病院
		河上 マリシー	女	企業経営	鳥取ガス
	中国吉林省	林 建華 (リン ジェンホワ)	女	衛生行政	県医務薬事課
	モンゴル中央県	ダグワドルジ バトバヤル	男	地方行政	県市町村振興課
1996 (平成 8)	ブラジル	河井 美智恵 ルシアナ	女	臨床検査	県立中央病院
	中国吉林省	沈 在成 (チン ザイチェン)	男	商工行政	県商政課
1997 (平成 9)	ブラジル	西坂 マルリ れいか	女	会計事務	中尾税経事務所
		吉田 ますみ ルシー	女	歯科治療	県立中央病院
	中国吉林省	陳 香林 (チン シャンリン)	女	商工行政	県商政課
	モンゴル中央県	バヤルバト ボルドバータル	男	行政一般	県市町村振興課
1998 (平成 10)	ブラジル	中尾 ソランジェ	女	広告一般	デザインスタジオ石山
	中国吉林省	曹 仁秋 (ツァオ レンチュウ)	男	商工行政	県商政課
		杜 軍 (ドゥ ジュン)	男	環境行政	県衛生研究所
	モンゴル中央県	バルガルスレン エルデネバト	男	農業	農業大学校、園芸試験場
ツェレンドルジ アリマントヤ		女			
1999 (平成 11)	ブラジル	岩水 ミリアン 恵美	女	食品加工	大伸水産
		高橋 クリスティーナ 理恵	女	広報・報道	新日本海新聞社
	中国吉林省	玉 冬輝 (ワン ドンフィ)	男	商工行政	県商政課
	モンゴル中央県	トゥグスオチル バヤルブー	女	農業	農業大学校、園芸試験場、鳥取 農業改良普及センター
ソソルバラム ウラーンツェグ		女			
2000 (平成 12)	ブラジル	西森 由美香	女	歯科治療	県立中央病院
		山本 リア	女	土木	県管理課

2000 (平成 12)	中国吉林省	崔 成岩 (ツウイ チョンヤアン)	男	商工行政	県経済通商課
	モンゴル中央県	エレンダワー ガンボルド	男	野菜栽培	農業大学校、園芸試験場、鳥取 農業改良普及部
ナワンバルダン トゥムルトヤ		女			
2001 (平成 13)	ブラジル	大原 高取 ビビアネ	女	宣伝・広告	鳥取県産業技術センター
	中国吉林省	呉 英蘭 (ウ イェンラン)	女	商工行政	県経済通商課
	モンゴル中央県	チョイジャムツ バヤラー	男	野菜栽培	農業大学校、園芸試験場、鳥取 農業改良普及部
		ソンドイ ウランチメグ	女		
2002 (平成 14)	ブラジル	エリカ サナエ カゲヤマ	女	建築	杵村建築設計事務所、米子工業 高等専門学校
	パラグアイ	谷口 まゆみ	女	情報技術	エコシステムクリエイター
	中国吉林省	許 長春 (シウ チャンチュン)	男	環境	県衛生環境研究所
		郭 大衛 (クオ ターウェイ)	男	商工行政	県経済交流課
	モンゴル中央県	スレンホルロ ガンチメグ	女	野菜栽培	農業大学校、園芸試験場、八頭 農業改良普及所
		バトジャルガル ツォグトサラン	男		
2003 (平成 15)	ブラジル	エリカ ナオミ カトウ	女	環境	県生活環境部
		ルシアナ ケラ	女	都市設計	県環境政策課、白兔設計事務所、 鳥取環境大学
	中国吉林省	李 守祥 (リ シュショウ)	男	環境	県環境政策課、衛生研究所
		朴 晟 (ピャオ シュン)	男	商工行政	県経済交流課
	モンゴル中央県	ダシゼベグ チョルーンツェツェグ	女	農業	農業大学校、園芸試験場、鳥取 大学農学部
	2004 (平成 16)	ブラジル	ジナー サユリ イワミズ	女	建築設計
モンゴル中央県		オンゴードイ ムンフトヤ	女	農業	農業大学校、園芸試験場
2005 (平成 17)	ブラジル	サンドラ アケミ ナリタ	女	報道	新日本海新聞社等
	モンゴル中央県	ウダバルバダム エルデネバト	男	農業	農業大学校、園芸試験場
2006 (平成 18)	ブラジル	エリキ フナパン	男	食品流通	中井酒造株式会社、県市場開拓 監、県文化観光局
	モンゴル中央県	ゲンデンプレブ ガンバト	男	農業	農業大学校、園芸試験場
2007 (平成 19)	ブラジル	ミリアン ハルキ キノシタ	女	福祉保健	総合療育センター
	モンゴル中央県	バルジンニヤム バトソーリ	男	農業	農業大学校、園芸試験場
2008 (平成 20)	ブラジル	マルガレッタ タエコ フカクサ	女	国際貿易	㈱さかいみなと貿易センター
	モンゴル中央県	トゥグスオチル バヤルフー	女	農業	農業大学校
2009 (平成 21)	ブラジル	アレシャンドレ アラキ	男	放送関係	中海テレビ
	モンゴル中央県	ミヤグマル ダシドラム	女	農業	農業大学校
2010 (平成 22)	ブラジル	ジェシカ ユリ ネブヤ	女	広告業	㈱エス・アイ・シー
	モンゴル中央県	ルンデー ツォグトバヤル	男	農業	農業大学校

中国河北省技術研修生

年度	氏名	性別	研修内容	研修先
1992 (平成4)	臧 恩宝 (ズァン エンパオ)	男	自動車整備	倉吉高等技術専門校
1993 (平成5)	何 利華 (ホ リーホァ)	男	自動車整備	倉吉高等技術専門校
	王 軍 (ワン ジュン)	男		

中国河北省農林漁業研究者

年度	氏名	所属	性別	研修内容	研修先
1988 (昭和63)	殷 録閣 (イン ルーコウ)	水産研究所	男	栽培漁業	栽培漁業試験場
	何 建平 (ホー チンピン)	秦皇島市畜牧水産局	男		
1989 (平成元)	閻 乃庚 (エン ナイコウ)	農林科学院	男	果樹栽培	果樹野菜試験場
	李 光照 (リ グァンジャオ)		男		
1990 (平成2)	焦 長明 (チャオ チャンミン)	農林科学院	男	生物工学	果樹野菜試験場
1991 (平成3)	程 增書 (チョン ゾンシュ)	農林科学院	男	生物工学	果樹野菜試験場
	高 延庁 (ガオ イェンティン)	河北省林業局	男		
1992 (平成4)	張 麗潔 (ジャン リジェ)	農林科学院	女	果樹栽培	園芸試験場
	崔 洋 (ツイ ヤン)		男	生物工学	鳥取大学
1993 (平成5)	吐 永清 (トゥ ヨンチン)	固安県蔬菜管理局	男	野菜栽培	園芸試験場
	曾 憲坤 (ゾン シェヌクウス)	永清県林業局	男	砂地果樹	
1994 (平成6)	高 志傑 (ガオ ジジェ)	農林科学院	男	野菜栽培	園芸試験場
	張 素芳 (チャン スーファン)		女	土壤肥料	農業試験場
1995 (平成7)	齊 秀菊 (チィ シウジュ)	農林科学院	女	野菜病害防除	園芸試験場
1996 (平成8)	高 林森 (ガオ リヌセヌ)	農林科学院等	男	甘柿栽培	園芸試験場
	高 延庁 (ガオ イェンティン)		男	花き栽培	
	溢 春秀 (イ チュヌシウ)		女		
	及 華 (ジィ ホァ)		女		
1997 (平成9)	孫 嵐国 (スヌ ラヌグオ)	農林科学院	男	果樹栽培	園芸試験場
1998 (平成10)	楊 建波 (ヤン ジェヌボ)	大名県林業局	男	果樹栽培	園芸試験場
1999 (平成11)	姜 玉生 (ジァン ユイション)	固安県蔬菜管理局	男	野菜栽培	園芸試験場
2000 (平成12)	李 克健 (リ コウチン)	曲陽県林業局	男	果樹栽培	園芸試験場
	王 明秋 (ワン ミンシュウ)	農林科学院	男	野菜栽培	
2001 (平成13)	馮 樹亮 (フォン シュリアン)	農林科学院	男	防除技術	園芸試験場
2002 (平成14)	鄭 礼 (チョン リー)	農林科学院	男	防除技術	園芸試験場
2003 (平成15)	鄭 礼 (チョン リー)	農林科学院	男	防除技術	園芸試験場

中国河北省農業研修生・緑化研修生

年 度	区分	氏 名	性別	研修内容	研修先及び受入農家	
1987 (昭和 62)	団長	邱 濟民 (テイ ジーミン)	男	果樹栽培	東伯郡関金町 山本守夫氏	
	副団長	王 国華 (ワン グォホァ)	男	野菜栽培	倉吉市 河本増雄氏	
	団員	高 延庁 (ガオ イエンティン)	男	果樹栽培	東伯郡東伯町 河本茂氏	
		張 風栄 (ジャン フォンロン)	男	花き栽培	気高郡鹿野町 今本徹氏	
		王 迎濤 (ワン インタオ)	男	果樹栽培	倉吉市 田中秀人氏	
1988 (昭和 63)	団長	張 連仁 (ジャン リエンレン)	男	果樹栽培	倉吉市 福井光隆氏	
	副団長	韓 振延 (ハン ジェンイェン)	男		東伯郡関金町 山本守夫氏	
	団員	王 強 (ワン チァン)	男		東伯郡赤碕町 石賀昭一氏	
		彭 進友 (ボン ジンイォウ)	男		倉吉市 松本俊一氏	
1989 (平成元)	団長	邢 永才 (ジン ヨンツァイ)	男	果樹栽培	農業大学校、西伯郡中山町 井上智光氏	
	団員	梁 義春 (リャン イーチュン)	男		農業大学校、西伯郡会見町 赤井利幸氏	
		徐 東端 (シュイ ドンドァン)	男	野菜栽培	農業大学校、倉吉市 上村富士雄氏	
		蔣 喜田 (ジャン シーチァン)	男		農業大学校、東伯郡大栄町 梅津良善氏	
1990 (平成 2)	団長	王 振一 (ワン ジェンイ)	男	果樹栽培	農業大学校、倉吉市 大野俊一氏	
	団員	周 延文 (ジョウ イァンウエン)	男	野菜栽培	農業大学校、東伯郡北条町 石川孝平氏	
		劉 福辰 (リュウ フウチェン)	男	畜産	農業大学校、東伯郡東伯町 川本正一郎氏	
1991 (平成 3)	団長	楊 大字 (ヤン ダユイ)	男	果樹栽培	農業大学校、鳥取市 鈴木初巳氏	
	団員	張 少飛 (ジャン シャオフエイ)	男		農業大学校、岩美郡福部村 安田豊実氏	
		高 林森 (ガオ リンセン)	男	イチゴ	農業大学校、気高郡青谷町 田中正人氏	
		呉 鉄園 (ゴ ティエユァン)	男	果樹 (機 械)	農業大学校、八頭郡八東町 秋山宏樹氏	
		席 会民 (シィ ホイミン)	男		農業大学校、八頭郡郡家町 小林洋吉氏	
1992 (平成 4)	団長	高 玉軍 (ガオ ユイジュン)	男	果樹栽培	農業大学校、米子市 前田貢氏	
	団員	謝 曉亮 (シェ シャオリァン)	男		農業大学校、西伯郡淀江町 綾木健一氏	
		魏 建国 (ウェイ ジェングォ)	男		農業大学校、西伯郡会見町 石塚誠一氏	
		段 丙武 (ドァン ビンウ)	男		農業大学校、西伯郡名和町 岩井宰氏	
		胡 英輝 (フウ インホァイ)	男		野菜栽培	農業大学校、日野郡溝口町 遠藤達也氏
1993 (平成 5)	団長	白 韶雪 (バイ シャオシュエ)	男	果樹栽培	農業大学校、東伯郡東郷町 森田久好氏	
	団員	丁 振京 (ティン ジェンジン)	男		農業大学校、東伯郡関金町 藤井一良氏	
		魏 建秋 (ウェイ ジァンチウ)	男		農業大学校、東伯郡赤碕町 入江重吉氏	
		李 志強 (リ ジチァン)	男		酪農	農業大学校、東伯郡東伯町 徳丸安男氏
		李 躍進 (リ ユェジン)	男		砂丘園芸	農業大学校、東伯郡北条町 栢田富裕氏
1994 (平成 6)	団長	張 曉義 (ジャン シァオイー)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡八東町 小谷広太郎氏	
	団員	王 忠 (ワン ジョオン)	男	果樹栽培	農業大学校、鳥取市 鈴木茂氏	
		陳 雪 (チェン シュエ)	男		農業大学校、八頭郡佐治村 西尾明俊氏	
		榮 新 (ルウォン シン)	男		農業大学校、岩美郡福部村 山根徳之氏	
		邵 吉祥 (シャオ ジィシァン)	男		農業大学校、岩美郡福部村 安田豊実氏	

1995 (平成7)	団長	孫 風国 (ジュン クニクオ)	男	果樹栽培	農業大学校、西伯郡大山町 梶嶋勇治氏
	団員	鮑 紀剛 (バオ チークアン)	男		農業大学校、西伯郡会見町 赤井剛毅氏
		張 威 (チャン ウィ)	男	野菜栽培	農業大学校、西伯郡中山町 秋田実氏
		趙 志軍 (チァオ チージュン)	男	野菜栽培	農業大学校、米子市 福島康孝氏
		千 海良 (ユ ハイリヤン)	男	畜産栽培	農業大学校、西伯郡名和町 谷永憲雄氏
1996 (平成8)	団長	馬 建秋 (マー チェンチュウ)	男	果樹栽培	農業大学校、東伯郡関金町 藤井一良氏
	団員	曹 海峰 (ツァオ ファンフェン)	男		農業大学校、東伯郡東伯町 岩本典行氏
		楊 金昭 (ヤン チンチャオ)	男		農業大学校、東伯郡東郷町 谷口憲昭氏
		崔 増力 (ツイ チェンリ)	男	野菜栽培	農業大学校、東伯郡大栄町 山下正美氏
		馬 国平 (マー クオピン)	男	農業大学校、東伯郡大栄町 森本真樹男氏	
1997 (平成9)	団長	劉 偉 (リュウ ウェ)	男	果樹栽培	農業大学校、岩美郡福部村 安田豊実氏
	団員	張 孟傑 (ハン モンジェ)	男		農業大学校、八頭郡八東町 木原剛嗣氏
		祈 建増 (チイ ジェンゾン)	男	野菜栽培	農業大学校、鳥取市 石井一久氏
		姚 聖軍 (ヤオ ションジュン)	男		農業大学校、八頭郡八東町 小谷広太郎氏
		張 加国 (ジャン ジアグオ)	男	甘柿	農業大学校、八頭郡都家町 野田稔氏
李 鉄山 (リ ティエシヤン)	男				
1998 (平成10)	団長	張 志安 (ジャン チアアン)	男	果樹栽培	農業大学校、西伯郡淀江町 清水綾子氏
	団員	韓 偉 (ハン ウェイ)	男		農業大学校、西伯郡名和町 米沢誠一氏
		封 志平 (フウ チイピン)	男	甘柿	農業大学校、西伯郡会見町 石塚誠一氏
		丁 雪京 (ディン シュエジン)	男	野菜栽培	農業大学校、境港市 渡部武治氏
		趙 利波 (チァオ リーブウ)	男		農業大学校、西伯郡中山町 秋田実氏
崔 良龍 (ツイ リヤンロン)	男	農業大学校、日野郡日南町 池田尚弘氏			
1999 (平成11)	団長	呉 炳奇 (ウー ジュンウエン)	男	果樹栽培	農業大学校、東伯郡東郷町 谷口憲昭氏
	団員	高 俊文 (カオ ジュンウエン)	男		農業大学校、東伯郡赤碓町 田中哲馬氏
		尼 群周 (ニー チュンチョウ)	男	甘柿	農業大学校、東伯郡東郷町 福本巧氏
		武 斌 (ウー ビン)	男	野菜栽培	農業大学校、東伯郡大栄町 梅津博文氏
		王 海東 (ワン ハイドン)	男		農業大学校、東伯郡東伯町 小前二郎氏
蔣 丙文 (ジャン ビンウエン)	男	農業大学校、倉吉市 大野俊一氏			
2000 (平成12)	団長	魏 建国 (ウェイ ジェングー)	男	果樹栽培	農業大学校、八頭郡八東町 秋山宏樹氏
	団員	馬 海国 (マ ハイグー)	男		農業大学校、気高郡青谷町 長谷川義博氏
		楊 端剛 (ヤン ルイガン)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡八東町 小谷廣太郎氏
		魯 明 (ルー ミン)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡都家町 毛利克征氏
2002 (平成14)	団長	王 春龍 (ワン チュンロン)	男	林業	鳥取県山林樹苗協同組合、林業試験場
	団員	肖 鋒 (シアウ フォン)	男		
		于 小軍 (ウィ シアオジュン)	男		
		王 鉄峰 (ワン ティエフォン)	男	畜産	鳥取県畜産振興協会鳥取放牧場河合谷分場、畜産試験場
龚 志勇 (グウン チーユン)		男			
2003 (平成15)	団員	楊 耀耀 (ヤン ヤオホイ)	男	林業	鳥取県森林組合連合会、鳥取森林管理署、

2003 (平成 15)	団員	呉 濤 (ウー タオ)	男	林業	鳥取県山林樹苗協同組合
		柳 全芬 (リュ チュワンフェン)	男	畜産	倉吉家畜保健衛生所、鳥取畜産農業協同組合、大山乳業農業共同組合
		高 衆迎 (カオ チュンイン)	男		

中国黒竜江省農業研修生

年 度	区分	氏 名	性別	研修内容	研修先及び受入農家
1995 (平成 7)	団長	梁 桂誠 (リャン クイチョン)	男	果樹栽培	農業大学校、鳥取市 鈴木茂氏
	団員	牛 明君 (ニウ ミンチュン)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡八東町 小谷広太郎氏
		李 光印 (リ コワンイン)	男	稲作・果樹	農業大学校、八頭郡佐治村 西尾明敏氏

韓国江原道行政実務研修生

年 度	氏 名	性別	研修内容	研修先
1993 (平成 5)	崔 烟奎 (チェ ヒョンギユ)	男	地方行政	県市町村振興課
1994 (平成 6)	金 星鎬 (キム ソンホ)	男	地方行政	県市町村振興課
1995 (平成 7)	李 昇燮 (イ スンソップ)	男	行政管理	県職員課
1996 (平成 8)	朴 根泳 (パク グンニョン)	男	地方行政	県市町村振興課
1997 (平成 9)	鄭 官容 (チョン グァンヨン)	男	行政一般	県環境政策課
1998 (平成 10)	李 焜烈 (イ グンニョル)	男	文化行政	県教育委員会文化課
1999 (平成 11)	白 昶錫 (バク チャンソク)	男	行政一般	県市町村振興課
2000 (平成 12)	安 鏞辰 (アン ヨンジン)	男	農業行政	県生産流通課
2001 (平成 13)	鄭 丞弼 (チョン スンピル)	男	行政一般	県市町村振興課
2002 (平成 14)	金 光善 (キム グァンソン)	男	農林行政	県農林水産部
2003 (平成 15)	盧 希宣 (ノ ヒソン)	女	農林行政	県農林水産部
2004 (平成 16)	姜 熙星 (カン ヒソン)	男	行政一般	県総務部
2008 (平成 20)	崔 豪洵 (チェ ホスン)	男	行政一般	県商工労働部
2009 (平成 21)	李 美静 (イ ミジョン)	女	行政一般	県教育委員会
2010 (平成 22)	吉 煥朱 (キル ファンズ)	男	農林行政	県農林水産部

自治体職員協力交流研修員

年 度	国 籍	氏 名	性別	研修内容	研修先
1996 (平成 8)	ベトナム	グエン キム フォン	男	商工行政	県商政課
1997 (平成 9)	ベトナム	レ バン クイ	男	商工行政	県商政課
1998 (平成 10)	韓国 (江原道)	金 東旭 (キム ドンウク)	男	観光行政	県観光課
	マレーシア	モハット ノール ハシム	男	行政一般	県国際課
1999 (平成 11)	韓国 (江原道)	黄 貞淑 (ファン ジョンスク)	女	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	王 霞 (ワン シャア)	女	環境	県衛生研究所

2000 (平成 12)	韓国 (江原道)	全 珍杓 (チョン ジンピョ)	男	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	趙 青 (ジャオ チン)	女	環境	県衛生研究所
2001 (平成 13)	韓国 (江原道)	金 美慶 (キム ミギョン)	女	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	王 立群 (ワン リチュイン)	男	文化行政	県国民文化祭推進局
2002 (平成 14)	韓国 (江原道)	林 泰虎 (イム テホ)	男	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	王 宏偉 (ワン ホンウエイ)	男	文化行政	県国民文化祭推進局
2003 (平成 15)	韓国 (江原道)	元 鴻植 (ウォン ホンシク)	男	福祉行政	県福祉保健課
		南 鎮宇 (ナム ジンウ)	男	環境行政	県生活環境部
2004 (平成 16)	韓国 (江原道)	姜 桐希 (カン ギョンヒ)	女	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	徐 波 (シュウ ボウ)	男	商工行政	県経済交流課
2005 (平成 17)	中国 (吉林省)	李 艳苹 (リ イェンピン)	女	商工行政	県経済交流課
	中国 (河北省)	張 碩 (チャン シュオ)	男	環境行政	県環境政策課
2006 (平成 18)	中国 (吉林省)	衣 飛 (イ フェイ)	女	商工行政	県産業開発課
2007 (平成 19)	中国 (吉林省)	杜 春紅 (ドゥ チュンホン)	女	商工行政	県産業開発課
2008 (平成 20)	中国 (吉林省)	郝 軍 (ハオ ジュン)	男	商工行政	県産業振興戦略総室
	韓国 (江原道)	朴ブルン (パク ブルン)	女	環境政策	県生活環境部
2009 (平成 21)	中国 (吉林省)	周 婧怡 (ジョウ ジンイ)	女	商工行政	県経済通商総室
2010 (平成 22)	中国 (吉林省)	林 曉琳 (リン シャオリン)	女	商工行政	県商工労働部
	韓国 (江原道)	金 蘭姫 (キム ナンヒ)	女	商工行政	県商工労働部

外務省長期青年招聘事業研修員

年度	国籍	氏名	性別	研修内容	研修先
1995 (平成 7)	モンゴル	ヤンザン セレンゲ	女	商工行政	県商工振興課
1996 (平成 8)	ミャンマー	ミン イン セイン	女	商工行政	県商政課
1998 (平成 10)	ミャンマー	コ コ ナイン	男	商工行政	県商政課
1999 (平成 11)	ベトナム	グエン タイ ビン	男	文化振興	県文化振興課
	カンボジア	サーン ビルナー	男	商工行政	県商政課
2000 (平成 12)	ミャンマー	ナン キン ス	女	文化振興	県文化振興課

国際協力機構 (JICA) 自治体連携研修員

年度	国籍	氏名	性別	研修内容	研修先
1999 (平成 11)	モンゴル (中央県)	バルジンニヤム デルゲルツォグト	女	循環器科医療	県立中央病院
2000 (平成 12)	モンゴル (中央県)	イシ オユンチメグ	女	内科・産婦人科医療	県立中央病院
2001 (平成 13)	モンゴル (中央県)	ジンバー ビンバジャブ	女	脳神経外科・脳神経内科医療	県立中央病院
2004 (平成 16)	モンゴル (中央県)	スヘー オユンツェツェグ	女	産婦人科医療	県立中央病院

国際協力機構（JICA）医療研修員

年度	国籍	氏名	性別	研修内容	研修先
2010（平成22）	モンゴル（中央県）	サンダグ トゥグスバヤル	女	産婦人科医療	県立中央病院
		ルハグジャヴ ウランチメグ	女		

ブラジル県費留学生

年度	氏名	出身市町村(旧名)	性別	大学等	学部	専攻
1965（昭和40）	山添 勝子	若桜町	女	鳥取大学	教育学部	
1966（昭和41）	中井 佐代子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	児童心理
1967（昭和42）	中井 佐代子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	児童心理
1968（昭和43）	橋浦 晴江	岩美町	女	鳥取大学	教育学部	児童教育
1969（昭和44）	橋浦 晴江	岩美町	女	鳥取大学	教育学部	児童教育
	山添 美智子	若桜町	女	鳥取大学	教育学部	農村社会
1970（昭和45）	鈴木 陽子	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	建築
	伊木 信子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	体育
1971（昭和46）	成田 敬	米子市	男	鳥取大学	教育学部	産業概論
	明德 薫	琴浦町（東伯町）	男	鳥取大学	工学部	地域計画
1973（昭和48）	加藤 ルイザ	北栄町（北条町）	女	鳥取大学	教育学部	教育制度
	加藤 輝子 ネリー		女	鳥取大学	教育学部	障害児教育
1974（昭和49）	平 ネウザ	日野町	女	鳥取大学	教育学部	国際貿易
	松下 美智子 エレーナ	八頭町（船岡町）	女	鳥取大学	教育学部	社会福祉
1975（昭和50）	徳尾 リリア 淑子	日南町	女	鳥取大学	医学部	労働医学
	加藤 早苗 アンナ	北栄町（大栄町）	女	鳥取大学	教育学部	日本語
1976（昭和51）	伊藤 初美	湯梨浜町（東郷町）	女	鳥取大学	工学部	建築
1977（昭和52）	伊藤 初美	湯梨浜町（東郷町）	女	鳥取大学	工学部	建築
	渡部 輝子	境港市	女	鳥取大学	教育学部	日本文化・教育制度
1978（昭和53）	竹内 綾子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	体育
	前原 一禮	米子市	男	鳥取大学	農学部	農業経営
1979（昭和54）	平木 育子	米子市	女	鳥取大学	医学部	小児科
	岩本 増典	三朝町	男	鳥取大学	医学部	婦人科
1980（昭和55）	高見 ロウルデス 早苗	倉吉市	女	鳥取大学	医学部	細菌学
	菊留 暁美	三朝町	女	鳥取大学	教育学部	心理学
1981（昭和56）	伊藤 清美	湯梨浜町（東郷町）	女	鳥取大学	教育学部	栄養学
	山下 八重子	三朝町	女	鳥取大学	工学部	地域計画
1982（昭和57）	平木 悦子	米子市	女	鳥取大学	医学部	産婦人科
	孝美 アメリア 美知江	倉吉市	女	鳥取大学	工学部	電機計算機
1983（昭和58）	霜田 美夕起	湯梨浜町（東郷町）	女	鳥取大学	医学部	難聴治療
	橋浦 富代	岩美町	女	鳥取大学	教育学部	地理学、自然科学

1984 (昭和 59)	岩本 デニゼ	三朝町	女	鳥取大学	工学部	都市計画
	岩本 エリーゼ 明己		女	鳥取大学	医学部	歯科
1985 (昭和 60)	加藤 五月 デイジー	鳥取市	女	鳥取大学	教育学部	現代日本語基礎教授法
	桑田 クリスティーナ 愛子	若桜町	女	鳥取大学	医学部	ウイルス学
1986 (昭和 61)	関山 理香 ジュリエッタ	鳥取市	女	鳥取大学	医学部	内科学
	長田 デルザ	倉吉市	女	鳥取大学	医学部	衛生産科婦人科学
1987 (昭和 62)	河崎 幸子 クレミルダ	倉吉市	女	鳥取大学	工学部	コンピューター
	小村 真澄 マリーザ	伯耆町 (岸本町)	女	鳥取大学	工学部	コンピューター
1988 (昭和 63)	武田 さつき ジュリア	伯耆町 (溝口町)	女	鳥取大学	教育学部	デザイン
1989 (平成元)	川崎 ミチエ クリスティーナ	琴浦町 (東伯町)	女	鳥取大学	工学部	土木材料学
1990 (平成 2)	吉田 美幸 ミリアン	鳥取市 (福部村)	女	米子工業高等 専門学校	建築学科	日本の建築技術等
1991 (平成 3)	本橋 敏江 クリスティーナ	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	知能情報工学
1992 (平成 4)	清水 ラケル	鳥取市	女	鳥取大学	教養部	保健体育学
1993 (平成 5)	羽島 月江	米子市	女	米子工業高等 専門学校	建築学科	デザイン
1994 (平成 6)	澁田 クリスティーナ あゆみ	鳥取市	女	鳥取大学	教養部	日本語
1995 (平成 7)	清水 デニゼ	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	地質水質学
1996 (平成 8)	西尾 エリーザ 真理	鳥取市 (河原町)	女	鳥取大学	工学部	品質管理
1999 (平成 11)	細田 アダウベルト 英二	伯耆町 (溝口町)	男	鳥取大学	地域教育学部	情報処理
2000 (平成 12)	大橋 ルシア みちこ	智頭町	女	鳥取大学	農学部	水質浄化
2001 (平成 13)	井上 友子 マルガリータ	米子市	女	鳥取大学	農学部	農業経営
2003 (平成 15)	カーリーナ メグミ ニシオ	鳥取市 (河原町)	女	鳥取大学	農学部	食品衛生・畜産物 加工
2004 (平成 16)	ウゴ ヤマシロ	八頭町 (船岡町)	男	鳥取大学	医学部	内科学
2005 (平成 17)	スエナガ アユミ	八頭町 (郡家町)	女	鳥取環境大学	環境政策学科	環境政策
2006 (平成 18)	ルセリア ユミ イヌマル	境港市	女	鳥取大学	地域学部	幼児教育
2008 (平成 20)	ファビオ ユウジ ニシサカ		男	鳥取大学	工学部	機械工学
2009 (平成 21)	カチア ルリ モリオカ	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	工業技術
2010 (平成 22)	アンドレ コウジ ニシサカ	米子市、倉吉市	男	鳥取大学	医学部	口腔外科

ブラジル短期再研修員

年度	氏名	出身市町村(旧名)	性別	研修内容	研修先
2009 (平成 21)	カトウ ベロニカ アケミ	日野郡	女	歯科治療	鳥取赤十字病院歯科口腔外科
2010 (平成 22)	マルリ レイカ ニシザカ ナ カムラ	倉吉市	女	会計事務、化粧品等 販売代理店業務	(株)中尾税経総合事務所 (株)シャルビー